

事業番号	16 01 04	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	登山者の安全確保事業	部局	警察本部	課・室	地域部		
		実施期間	S29 ~	E-mail	police-keimu@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減						

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】 アウトドアレジャーとしての登山人気の高まりに伴い、道迷い、疲労等の初歩的な準備や知識不足等に起因する遭難の増加及び日帰り可能な低山、いわゆる里山での遭難の増加等の傾向が顕著。
	【目指す姿】 長野県内を訪れる登山者に対して、県警、県観光部山岳高原観光課及び各地区山岳遭難防止対策協会が連携し、山岳遭難防止活動と安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する。
	【実施内容】 山岳遭難救助活動及び山岳遭難防止活動

指標の状況及び目標値 [△:改善、▽:悪化、→:変化なし、―:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	山岳遭難防止活動と、安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する								
2									
3									
4									
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
前年度繰越額	0	0	0
当初予算額	12,924	15,415	12,283
補正予算額	0	0	0
合計(A)	12,924	15,415	12,283
うち一般財源	8,277	13,148	8,701
決算額(B)	12,193	13,647	12,054
職員数(人)			

成果指標及び目標値の設定理由	長野県内を訪れる登山者の安全を確保するため、遭難救助活動に携わる救助隊員の技術の向上や装備品の充実を図り、遭難救助及び遭難防止対策を強化する必要があるため。
達成状況の分析	令和3年中は、コロナ禍において密を避けられるアウトドアレジャーとして登山人気が高まる中、山岳遭難も増加に転じ、発生件数は257件、遭難者数は276人と、件数・人数ともに前年と比べ大幅に増加した。発生した遭難に対してはコロナ感染防止対策をとりつつ、迅速・的確に対応し、警察官1,719人、遭対協424人が出動した。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●山岳パトロール等による直接指導の実施 登山者の集中が見込まれる春の大型連休や夏山期間等に併せて、地区遭対協等と連携し、登山口に登山相談所を開設するとともに、山岳パトロールや常駐活動を行い、タブレット端末等を活用し、現地での直接指導を実施。 ●動画投稿サイトやSNS等を活用した安全登山に資する情報発信 動画投稿サイトでの各登山シーズンごとの特有のリスクと遭難事例を編集した動画の公開のほか、SNSを通じた最新の山岳遭難発生状況(週報)と安全登山上の注意点の発信及びタブレット端末を活用して登山道状況などタイムリーに現地情報の発信を実施。 ●山岳救助訓練の実施 コロナ禍の中、感染防止対策を徹底しながら、開催期間・場所を分散して実施。県警山岳遭難救助隊は10回(春4回、秋2回、冬4回)、山岳高原パトロール隊は春と秋を中心に延べ4日間10会場で開催。地区遭対協との合同訓練についても10地区を対象に実施。
------	--



2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>コロナ禍において再び増加傾向にある山岳遭難に的確に対処するためには、活動の安全性と密接に関連する救助装備品の更新整備が不可欠である。</p> <p>また、増加傾向にある山岳遭難に対して、県観光部と連携して効果的な遭難防止対策を推進していく必要がある。</p>	<p>救助活動の安全性確保のため、救助装備品の高度化をさらに推進し、必要な装備品の早期更新を図るとともに、訓練の質と量を確認し救助技術の習得及び向上を図る。</p> <p>また、外部団体の主催するロープレスキューや野外救急関連の講習会等に隊員を派遣して、救助隊全体のスキルアップを図るとともに、県主催の一般登山者向けの安全登山講習や山岳パトロール及び登山口での登山相談活動等を通じて遭難防止啓発を図る。</p>

事業番号 16 01 04 細事業一覧 (令和3年度実施事業分) 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	登山者の安全確保事業	部局	警察本部	課・室	地域部
-----	------------	----	------	-----	-----

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	山岳遭難救助活動経費	12,193 千円	13,647 千円	12,054 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	山岳遭難救助活動経費	直接 負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・北アルプス等主要山岳地帯での常駐パトロール、タブレット端末等を活用した遭難防止啓発活動及び登山道情報などの安全登山に資するタイムリーな情報発信の強化を行った。 ・県警救助隊員や山岳高原パトロール隊員が救助活動等で使用する装備品を整備した。 ・長野県山岳遭難防止対策協会が行う、救助訓練に関わる経費、救助装備品の購入経費等の負担金